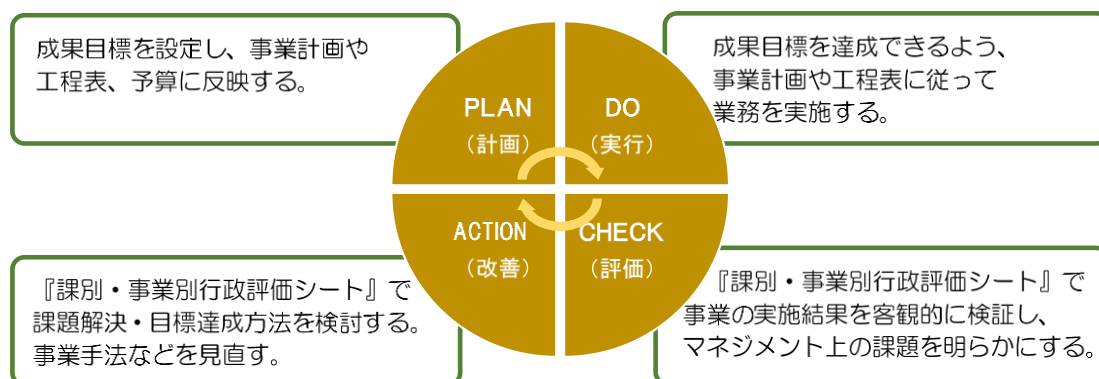


6 予算におけるその他の取り組み

(1)新公会計制度を活用した予算編成について

町田市は、2012年4月から市町村としては全国で初めて、日常の会計処理の中で複式簿記を行う新公会計制度を導入しました。2019年8月に公表した『平成30年度（2018年度）町田市課別・事業別行政評価シート』で検討した、課題解決・目標達成に向けた今後の取り組みを実現できるように、2020年度当初予算に反映させました。

新公会計制度による行政サービスの見える化と、予算編成を含むPDCAサイクルの実施により、市民サービスの向上を図ります。



『平成30年度（2018年度）町田市課別・事業別行政評価シート』で検討した取り組みを、2020年度当初予算に反映した件数・金額は以下のとおりです。

区分	予算に反映させた取り組み	件数	予算反映額
1	成果向上に向けた取組強化	94件	3,496,563千円
2	行政運営の見直しによる減	3件	5,038千円
3	歳入確保	4件	34,356千円
	予算反映額 合計	101件	3,535,957千円

予算編成に反映させた具体的な取組みについて、3つの区分ごとに紹介します。

区分	担当課	課題解決、目標達成に向けた今後の取り組み	成果指標	2020年度目標	2019年度実績見込	2018年度実績	取組項目	課題解決、目標達成に向けて、予算編成で工夫した内容	2020年度予算額(千円) a	2019年度予算額(千円) b	予算反映額(千円) a-b
1	文化スポーツ振興部 オリンピック・パラリンピック等国際大会推進課	市の取組みや競技の魅力等を紹介するイベントの実施や横断幕・フラッグ等による街中装飾等を行い、様々な機会を捉えて気運醸成に取り組めます。	東京2020オリンピック・パラリンピック等に向けた気運醸成イベント数(累計)	45	40	18	イベント実施等の気運醸成の取組	市内での競技開催や事前キャンプでの地域交流等を通じて気運醸成を図り、多くの方に、オリンピック・パラリンピックに様々な形で関わっていただくことで、大会の感動と興奮を共有し、まちを盛り上げます。	42,846	14,079	28,767
2	経済観光部 産業政策課	町田市文化交流センターの定期的な利用者を更に増やすため、ダイレクトメールの送付対象者を拡大します。その結果、利用料金収入を増加させ、指定管理料の削減を図ります。					施設運営方法	ダイレクトメール及びサンクスメールの拡大によりリピーターを増やし、さらに新規顧客開拓のため広報活動を強化することで、利用料金収入の増加を図り、指定管理料の削減を図ります。	1,390	5,756	△ 4,366
3	財務部 財政課	町田市ふるさと納税について、職員提案制度等を通じて、町田市の魅力発信・地域振興につながるような使い道の設定や返礼品の充実を図ります。また、認知度向上のため町内会・自治会へのパンフレットの配布やバスでの広告掲載を行うとともに、活用の成果を市ホームページ等で積極的にPRします。	歳入確保				指定寄附金	職員提案制度で新たに4件の寄附の使い道を追加し、ふるさと納税の募集を行います。また、町田市ふるさと納税のさらなる認知度向上と寄附金の募集に向けて、新たな広告媒体の活用や、ふるさと納税の使い道に賛同して寄附金を募る「ガバメントクラウドファンディング」を活用した魅力的なPRを行います。	110,840	95,720	15,120

(2)インセンティブ予算付与状況

インセンティブ予算とは、各部の創意工夫による経費節減や財源確保などの取り組みを評価し、別枠で配分する予算で、2007年度予算から導入したものです。2016年度予算からは、「ふるさと納税促進策各部提案制度」を創設し、各部の積極的な創意工夫を活かして、ふるさと納税の増加につながる返礼品を提案する促進策に対しても、インセンティブ予算を付与しています。

2020年度予算は、12件（前年度10件）の財源確保等の取り組みと4件（前年度2件）のふるさと納税促進策に対してインセンティブ予算を付与しました。

内訳は次のとおりです。

取り組みの種類	付与件数	効果額	付与額
財源確保	9件	36,813千円	58,715千円
未利用地の活用	3件	46,100千円	23,049千円
ふるさと納税促進策	4件	—	11,760千円
合計	16件	82,913千円	93,524千円

上記の他に2018年度に付与した5,236千円と2019年度に付与した25,196千円のうち2020年度に充当する16,988千円を合わせて、総額115,748千円のインセンティブ予算を付与しました。

■新たにインセンティブ予算を付与した主な取り組み

①財源確保の取り組み（創意工夫型）

○駐車場用地貸付にかかる契約方法及び仕様の見直し（経済観光部）

町田新産業創造センター隣接地について、契約方法及び仕様を見直したことにより、従来の貸付料を上回る財源を確保しました。

◎財源確保額 7,320 千円

◆インセンティブ予算付与額 14,640 千円

②財源確保の取り組み（補助金確保型）

○産業集積活性化補助金の活用（経済観光部）

他市との財源比較を行った結果、東京都から計画承認を受けることで補助金を活用できることが判明したため、計画作成及び東京都への申請を行い、財源を確保しました。

◎財源確保額 13,718 千円

◆インセンティブ予算付与額 5,000 千円

③未利用地を活用する取り組み

○市有財産の活用（市民部・道路部）

未利用であった事業用地について、民間に売却します。

◎財源確保額 46,100 千円

◆インセンティブ予算付与額 23,049 千円

④ふるさと納税促進策

○ふるさと納税の新たな使い道を追加（都市づくり部・経済観光部・学校教育部・保健所）

町田市のふるさと納税の魅力をさらに高め、町田市の魅力を市外にも幅広くPRすることを目的として、ふるさと納税を増加させる新たな使い道を追加しました。

具体的には、新たな寄附の使い道の一例として、公園、商業施設、ミュージアムなど多様な機能が複合する南町田グランベリーパークの特徴を生かし、南町田全体を盛り上げるイベントの開催などを行い、魅力的なまちの運営に取り組む「みなみまちだをみんなのまちへ 南町田グランベリーパークを盛り上げよう！」を追加しました。

◎目標寄附金額 23,520 千円

◆インセンティブ予算付与額 11,760 千円

■2018 年度から 2020 年度までのインセンティブ予算の付与状況

単位：千円

インセンティブ付与額			
2018 年度	2019 年度	2020 年度	合計
59,879	77,315	93,524	230,718

■インセンティブ予算の主な充当事業と充当額

・市庁舎こもれび広場の魅力向上にかかる整備工事費	21,651 千円	（財務部）
・公共施設維持保全にかかるサーモグラフィーカメラの購入費等	6,956 千円	（財務部）
・暑熱対策にかかるミスト設備設置工事費	1,288 千円	（経済観光部）
・準幹線道路整備の推進にかかる用地取得費	14,720 千円	（道路部）
・南町田グランベリーパークの運営にかかる負担金	7,560 千円	（都市づくり部）

(3)まちだ未来づくり基金（ふるさと納税）の使い道

町田市ではふるさと納税の使い道について、町田市の基本計画である「まちだ未来づくりプラン」に基づいた下記①から④の使い道を指定することが可能です。これらの使い道を指定してご寄附いただいたふるさと納税は、「まちだ未来づくり基金」に積み立てています。

- | |
|---|
| ①将来を担う人が育つまちをつくる（子ども・子育て・教育・生涯学習など）
②安心して生活できるまちをつくる（高齢者・障がい者・健康・医療・防犯・防災・地域振興など）
③賑わいのあるまちをつくる（産業振興・文化スポーツ振興・観光振興など）
④暮らしやすいまちをつくる（交通・住環境・環境など） |
|---|

2020 年度予算においては、2018 年度に上記の使い道として積み立てたふるさと納税について、「まちだ未来づくりプラン」の後期実行計画である「町田市5ヵ年計画17-21」の推進に資する次ページ①～④の事業に活用いたします。

6 予算におけるその他の取り組み

①将来を担う人が育つまちをつくる

充当事業	英語教育推進事業	所管	学校教育部 指導課	特定財源の うち充当額	3,720 千円
事業費	178,369 千円	特定財源	9,220 千円	一般財源	169,149 千円
内容	「英語教育で選ばれるまちだ」を実現するため、放課後英語教室拡充や新たに小学 5 年生全員にスノーピーミュージアムで学んだ英語の実践機会を提供するための費用に活用します。				

②安心して生活できるまちをつくる

充当事業	玉川学園コミュニティセンター建替 事業	所管	市民部 市民総務課	特定財源の うち充当額	1,780 千円
事業費	682,368 千円	特定財源	512,780 千円	一般財源	169,588 千円
内容	地域で活動している市民団体や文化芸術活動を行う団体などに活動の場を提供し、老朽化した玉川学園コミュニティセンターの改築工事を行うための費用に活用します。				

③賑わいのあるまちをつくる

充当事業	東京 2020 オリンピック・パラリンピック等国際大会推進事業	所管	文化スポーツ振興部 オリンピック・パラリンピック等国際大会推進課	特定財源の うち充当額	552 千円
事業費	109,254 千円	特定財源	30,524 千円	一般財源	78,730 千円
内容	多くの来訪者に町田市の魅力を発信する絶好の機会と捉え、オリンピック期間中に 2 日間、競技中継・解説、ステージイベント等を実施するための費用に活用します。				

④暮らしやすいまちをつくる

充当事業	地域コミュニティバス運行事業	所管	都市づくり部 交通事業推進課	特定財源の うち充当額	1,045 千円
事業費	27,308 千円	特定財源	1,271 千円	一般財源	26,037 千円
内容	移動が不便な地域の移動環境を向上させるため、地域住民や交通事業者と市が協働して地域コミュニティバス等を運行するとともに、新たな公共交通サービスの導入を促進する費用に活用します。				

(4)補助金等及び扶助費見直し状況

2020 年度の予算編成にあたっては、予算編成方針に基づき、「補助金等及び扶助費見直し」を行いました。

2016 年度予算編成で段階的に見直すものとした町田市単独事業の補助金等について、2020 年度予算編成において引き続き見直しを行いました。見直しを行った 2 件は以下のとおりです。

○補助金等及び扶助費見直し <見直し額 △3,351 千円>

項番	補助金等名称	2020 年度 予算額 A	2019 年度 予算額 B	見直し額 A-B
①	障がい者福祉施設借上費補助金	29,206 千円	32,278 千円	△3,072 千円
②	街路灯電気料金補助金	2,511 千円	2,790 千円	△279 千円
合計		31,717 千円	35,068 千円	△3,351 千円

参考資料

当初予算案ができるまで

市は、新しい年度が始まる前にこの先 1 年間に行う事業を検討し、収入と支出の見積りをします。これが「当初予算」といわれるもので、市民の代表である議会の議決を経て成立し、新しい年度が始まるとこの予算をもとに事業が行われます。

「当初予算」の予算編成は以下のような流れで行われ、議会に予算案として提出されます。

※時期は、2020 年度予算編成をもとにしています

